

農協と組合員をつなぐ広報誌

なかしゅんべつ



中春別酪農振興会「秋の収穫祭」が多数の参加のもと、10月16日(火)農協裏グラウンドで開催され、豪華景品をかけた農事組合対抗3種目競技が行われ、熱戦が繰り広げられました。


JA中春別

11月号

2018 Vol. 490



農協法公布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ

北海道農業協同組合中央会会長 飛田 稔 章

このたびの災害により被害を受けられた皆様ならびにそのご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

1日も早い復旧・復興へ向けて、J Aグループ北海道は組織を挙げて全力で支援に取り組んでまいります。さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法(農協法)が公布され、今年で71年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。

例えば安全・安心な食品の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する金融事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、地域社会に貢献するための様々な社会的取り組みも行なわれております。

地震や風水害による大規模災害が発生した際には、各協同組合が物資の支援、ボランティアの派遣、募金活動等を展開することにより、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしております。

本年9月の災害時にも、組合員・J A・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入など、組織内外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動に對し、敬意とともに、協同組合の力を改めて認識させて

頂いたところで。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきているのです。

そのような中、2016年に「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に本年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構(JCA)が発足したところで。

また、第29回J A北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、J Aグループが一体となって取り組むことと致しました。

農業協同組合に集う組合員、役職員の皆様は、このように世界的に評価され、社会的意義のある協同組合の仲間であることを誇りとしながら、協同活動の輪(食と農でつながるサポーター1550万人づくり)を広めて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、J Aグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様や夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJ Aの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げます、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。



Aコープ 秋の大収穫祭

Aコープ中春別前駐車場にて10月17日(水)、18日(木)の2日間、Aコープ秋の大収穫祭が行われました。

当日は風が少し強い中、会場には多くの野菜、食料品・飲料や農業用の生産資材、冬に向けて準備が必要なスタッドレスタイヤやスートップ、防寒衣料品などが

お買い得品が満載!
実りの秋を満喫しました!

並べられました。また、特別価格のお買得品も満載ということもあり会場は賑わいました。
 多くの人たちがつめかけた「みかん」と「じゃがいも(レッドムーン)・



きたあかり」のバケツつめ放題。1回500円とあって大人気となりました。

青年部、女性部も出店し、大収穫祭を盛り上げました

17日は午前11時から青年部による「中春別和牛」と「チクレンビーフ」の試食販売、女性部による別海牛乳と野菜をふんだんに使った「ミルク豚汁」と「コー



ヒー牛乳」の無料提供、別海牛乳を使った商品の即売会、フリーマーケットでは手作りのパウンド

ケーキやトマトケチャップなど様々な品を販売し大盛況となっていました。
 会場を後にする皆さん、多くのお買い得品を手に実りの秋を満喫されました。



豊原酪農振興会 秋の現地視察勉強会

地区内の最新フリーストール牛舎を視察

豊原酪農振興会(中村貞志会長)では、会員の知識向上と親睦を図る目的から10月15日(月)に秋の現地視察勉強会を行い、21人が参加しました。



肌寒い秋空の下、地区内で最新のフリーストール牛舎を構えた(株)オートファームを視察しました。

あるハードナビゲーターを導入し、乳汁分析データにより、早期疾病発見及び繁殖管理等も行っています。代表の平井優一さんに案内され牛舎をまわり、なかでも注目が集まったのは平

井さんが強い意志で導入したフィードプツシャー(エサ寄せロボット)。エサを寄せながら配合飼料を給餌できる優れた機械で、1日最大30回まで稼働できるそう



井さんの話が出ていました。最新設備を目にし、知識向上に繋がる有意義な視察となりました。視察後、中標津町のウエスタンで昼食をとり「ウチも牛舎建てたいんだよね」と、将来の設備に向けて

です。他にも、気温に合わせて自動で調整する換気設備にも注目が集まっています。

中春別酪農振興会 視察研修会

改良を重ねた品種発売が楽しみ

中春別酪農振興会(高橋真悟会長)では、会員の知識向上と親睦を図る目的から10月19(金)~20日(土)にかけて雪印種苗(株)北海道研究農場への視察を会員5人参加のなかに行いました。



雪印種苗(株)北海道研究農場では、北海道向けの牧草・飼料作物の原種生産と品種改良を行っており、当地域でも馴染みのある牧草品種も多く、参加者は説明に熱心に耳を傾けていました。また、現在、市場に流通している牧草品種よりも更に改良を重ねられた品種の説明を受け、参加者からは「今後の発売が楽しみで、是非とも使用してみたい」などの声があがり、大変有意義な研修となりました。

広大な北の大地で酪農を体験、 その魅力に触れる

9月30日(日)～10月6日(土)の7日間にかけて、学校法人工藤学園愛犬美容看護専門学校(札幌市)の学生が、**未来牧場**の酪農研修を行いました。



学生は合計で14人参加し、3泊4日の酪農研修を2班構成で行いました。4日間の実習を通じて、酪農の基礎知識についての座学研修や、**未来牧場**で朝・夕の子牛への哺育作業、搾乳体験、酪農ヘルパー職員に同行し搾乳や牛舎清掃などを体験しました。



今回、学生たちは場内の宿泊棟での自炊生活を行い、普段体験できない共同生活もあり、楽しんでおり、様子が見受けられました。

以前より牛に関わったことのある学生もいれば、初めて牛を見たという学生もあり、不安を抱えつつも、**未来牧場**での実習がスタートしました。最初は恐る恐る牛に近づきながら作業していた学生でしたが、目を追うことに牛にも慣れ、乳拭きや搾乳作業を積極的にこなしていました。

朝晩の作業の合間では、近隣の視察を実施し、**未来牧場**の視察ポスターでの搾乳ロボットの見学や社団法人ジェネティクス北海道では種牛について学び、雄牛の大きさに驚いている様子でした。他にも、別海バイオガス発電場での施設内の見学や、獣医師による「酪農畜産現場における動物看護師の役割」



をテーマとした講義を行い、仕事内容や学生へのアドバイ



スなどを話していただきました。

普段の生活リズムとは違い、心身ともに大変な酪農研修であったかと思われませんが、大変ながらも、学生たちの積極的に学ぼうとする姿勢や、何よりも楽しんでる姿が見られました。

参加された学生から酪農

研修を通じて、普段では体験できない作業や、関係機関での視察や講義など、酪農に関することや酪農・地域の魅力に少しでも触れていただけたのではないかと思います。今回の経験を糧に今後の勉学に励んでいたただけたらと思います。参加された皆さまお疲れ様でした。

研修を通して「普段、関わりが深い小動物だけではなく、今回初めて体験した大動物に携わる仕事の内容や楽しさ」が触れることができ、将来の選択肢としても考えていけたらと思います」と感想をいただきました。





地域の方に楽しんでもらうために

異業種音楽交流会「#らくおん！」



JA中春別青年部主催異業種音楽交流会「#らくおん！」が10月13日(土)、中標津町の「SAFEWAY」にて開催されました。



今回は、相席ブースも導入しており、老若男女問わず盛り上がり、人と人が繋がれるゆるい相席を提供。沢山の方が相席を通じ、交流を図っております。当日は80人近くの人々が会場に集まり、盛り上がりを見せておりました。メインイベント

過去3カ年において行われた「ナイトフイバー」がパワーアップ「#らくおん！」と名前を変えて、今年で4年目の異業種音楽交流会となり、農家を中心となり老若男女問わずに地域の方々に楽しんでいただくことをコンセプトに、徹底した手作りの交流イベントとなりました。

DJを勤めたのは広沼力也さん、伊藤孝彦さん、長沼徹さん。いずれも当農協青年部員の粋な「酪農」DJ。J-POPをはじめ、懐メロやアニソン、最新EDMと、さまざまなジャンルの曲を流して来場者を盛り上げました。

DJタイムの他に参加型のミニゲーム、「べつつかい乳業興社」の牛乳を使った「牛乳早飲み」を実施。3組の参加者は一歩も譲らない僅差の勝負を繰り広げ、会場は大盛り上がりでした。

最後に同JAオリジナル商品の「乳ホタ餃子」や、「ロールケーキ」「なかしゅんロール」の他に地元の寿司店、イタリア料理店や浜中町のファームレストラン「ファームデザインズ」の食事券などが当たる大抽選会を行いました。目玉はなんとと言っても、温泉ペア旅行券です。自分の抽選番号が呼ばれ喜ぶ人、惜しくも外れてしまい残念がる人、時間も忘れてたくさんの方が楽しんでいました。



抽選後には、景品が当たらなかつた方々を対象に、尾岱沼にあるカフェ「マルカ」のシフォンケーキをプレゼント。あつという間に時間も過ぎ、大盛況の中イベントを終えることができました。

今回のイベントは、来場していただいた参加者や運営に携わっていただいた、SAF EWAY、大和殿を始めとする多くの企業や店舗の皆さんのご協力があつてこそ成り立つイベントです。本当にありがとうございます。当日イベントを通じ、音楽や相席を通して少しでも酪農への関心を深めていただければと思います。来年度も変わらぬお付き合いのほど、宜しくお願ひします。参加された皆様、お疲れ様でした。

THE別海MILK! 牛乳がすべてを育てる

中春別中学校 藤岡獅子丸さん

小原 直海さんに決定!



ました。
標語の作成は中春別小学校、中学校の皆さんにご協力いただきました。標語は中学校2年生の藤岡獅子丸さん「THE別海MILK!」と「牛乳がすべてを育てる」同校1年生の小原直海さんに決定しました。

ロールバック メッセージ

当日は天候にも恵まれて、快晴の中での作業となりました。周辺の草刈・ロール積みは18日に、ロールの色塗りを23日に行い、ついにロールバックメッセージが完成しました。

青年部消費拡大事業の一つであるロールバックメッセージの作成を10月18日(木)、23日(火)に行いました。



ロールの数は60個と例年に比べて多くなっており、迫力あるメッセージが仕上がりました。
(株)なかしゅんべつ未来牧場全酪連育成センター前(道路横右手)にて設置しております。中標津方面から別海方面への移動の際は是非注目をお願いします。

ひと夏を過ごし成長した 牛たちが帰っていきました

(株)なかしゅんべつ未来牧場共和育成センター

夏季預託牛下牧

秋の寒空の下、(株)なかしゅんべつ未来牧場共和育成センターで10月15日(月)から数日間にわたり、夏季預託牛の下牧が行われました。

今年はず中から入った牛も含め、27戸の組合員から合計603頭の牛が共和育成センターに夏季預託牛として預けられ、広々とした牧草地でのんびり過ごしました。牛たちは一回りも二回りも大きく成長し、迎えにきたトラックに乗せられ、わが家へと帰っていきました。



備えよう防災の知恵 ハーバリウムで心に潤いを

第46回 別海町酪農
女性のつどい

別海中央公民館にて別海町酪農女性のつどいが、10月3日(水)開催されました。

午前の部は役場防災交通課の方に地震等の防災について教えていただきました。胆振地震では別海町



内が断水するといった噂が流れ、別海町公式のSNSなどで誤った情報だと知らせる事態となりました。もつと大きな災害が起きた際は「正しい情報を確認して惑わされず、的確な行動を取ることが大切」とのことでした。

午後の部では加賀麻紀先生にハーバリウムの講習を開いていただきました。色とりどりの花やドライフルーツなどを使って秋らしい作品や個性的な作品が出来上がりました。



木の実部会では、標津サーモン科学館を10月23日(火)視察しました。

係りの方に説明をしていただきながら巡って行き、サケの仲間は66種類もいると説明していただく。「えー!そんなにいるの!」と驚いた様子でした。

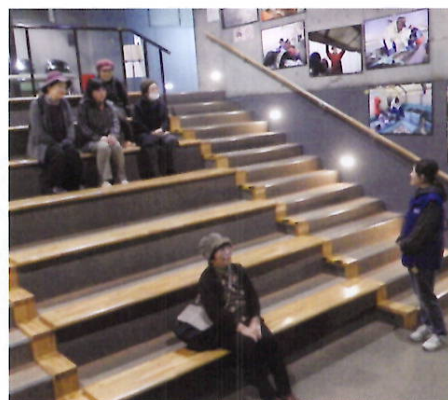
漁獲量が一番多いのはカラフトマスで、オホーツクサーモンという名前で販売されていたり、鮭缶になっ

ていたりするそうです。一番大きく成長するのはキングサーモンで、一番大きかったものは147cm、57kgも

鮭について学びました 木の实部会視察研修



あつたそうです。チョウザメの指パク体験や魚道水槽の視察をして、皆さんとても楽しめたようでした。



おいしいパンを たくさんお土産にしました

フレッシュミセス部会 パン作り

10月30日(火)、フレッシュミセス部会では、別海農村加工施設にてパン教室を開催しました。

午前9時頃から徐々に部員が集まり始め、生地を丸めたりなど、てきばきと分担しながら仕事をこなす奥様方。この日はサツマイモ入りのパンやゴマとチーズを練り込んだ食パンなど美味しそうなパンが



たくさん出来上がりました。

会話に花を咲かせながら、わいわいとパンを

作り、奥様方の交流の場となりました。出来上がったパンは箱や袋につめてお土産に持ち帰りました。



来年の花壇もお楽しみに!

女性部・園芸グループ花壇整備

女性部と園芸グループでは10月31日(水)に花壇整備を行いました。



冷たい風が吹く中の作業となりましたが多くの方が集まり、予想よりもスムーズに作業を終える事ができました。

来年度に向けて花を抜き、雑草が生えるのを防ぐためマルチシートはそのままにしたまま来年まで待ちます。1時間ほどで花壇はすっかり綺麗になりました。今回の花壇整備で出たゴミはなんと40リットル10袋分にもなり、花壇を鮮やかに彩ってくれた花たちに感謝を込めながら作業は終了し、昼食後は地区内に住む70歳以上の方々へ毎月送っている押し花シール作りをして解散となりました。



女性部・園芸グループでは来年度も農協に来てくださる方たちの心が温まるような花壇づくりに努めて参ります。



根室農業改良普及センター
営農対策情報

営農改善資料発行!

③



この資料は、将来構想の考え方、労働生産性を考慮した農場全体のシステムのあり方、投資するにあたって事前に準備しておくことについて掲載しています。

9月から計4回にわたり概要と活用事例の紹介をします。

第三章 事前に準備しておくこと

第1章では、将来の農場の規模や投資計画について、第2章では必要な施設について、それぞれ紹介をしました。この章では、それらを踏まえた上での実務的な準備作業について紹介をしています。

1 計画を立てる

まずは、投資計画の作成と予定地の確保が必要となります。投資計画の作成には、①各施設の図面を引く、②各施設の位置や向き(レイアウト)を決める、③各施設の見積を取る、④必要

な資金計画を立てる、⑤増頭計画を立てる、という作業があります。

これらは互いに影響し合うため、同時進行で何度も行うことになりま

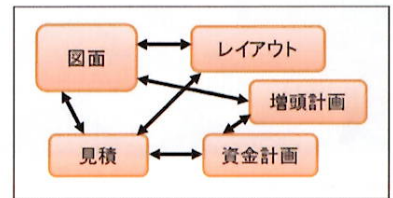


図1 投資計画作成のイメージ

予定地の確保には、保有している土地を利用する場合と土地購入の場合とで、それぞれ手続きや作業が必要となります。

本資料では、具体例を紹介しています。自身の計画と照らし合わせてシミュレーションを試みましょう。

2 手続きのスケジュール

施設建築に関する手続きには、①資金調達、②補助事業利用、③農地転用、④法人化などがあります。農場の条件により必要な手続きは異なりますが、スケジュールに余裕を持たせて計画的に進める必要があります(表1)。

補助事業の利用、資金調達および農地利用の計画を十分に検討し、できるだけ早い段階で各窓口にご相談しましょう。

表1 補助事業を利用した場合の牛舎建築スケジュール(例)

年度	前々年度												前年度												工事当年度											
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
各種手続き	経営長期計画(将来計画)												知・中継、経営計画作成(増頭計画、取組計画等)												法人化 会社運営準備											
設計・施工	農協や普及センターに相談												情報収集(視察、研修会、調査)												農地確認											
	施設設計												施設												乳牛・機械導入											
補助事業	地耐力調査、遺跡調査												盛土												盛土											
	事業実施計画												計画承認申請(農地等)												国・道審査											
												事業主検査												行政検査												
												補助金交付決定												補助金交付申請												
												入札・契約												建設工事 工事監理												
												道路、舗装、糞尿処理、貯蔵施設、その他												引渡し												

3 雇用にあたって

経営規模の拡大や事業の多角化、家族の状況などによって、従業員の雇用を行うことも選択肢として考えて行かなくてはなりません。

雇用を考える上では、従業員数、雇用の開始時期、求人方法、就業前研修、雇用形態や賃金形態、保険の加入、従業員の

住居、労働時間や福利厚生など、決めていく事項は多々あります。

本資料では、従業員の方々への聞き取り調査や各農場のホームページ、求人サイトの事例から、雇用の確保についてポイントを紹介しています。

4 直前の準備

稼働に向けて、直前にやっておくことをチェックリスト形式で紹介しています。

牛にとって、環境の変化は一時的に大きなストレスになります。したがって、施設が新しくなることは作業手順を一新する絶好のチャンスです。今一度、施設を見直し、実際に牛を入れた状況をイメージしながら準備を進めていきましょう。

増頭や雇用の確保など、投資に向けて、2〜3年前からの計画が必要です。第3章の将来目標や第4章の農場システム・レイアウトの検討まで戻って何度も検討し、準備を進めていきましょう。ときには、「今回はやめておく」という、中止・延期の判断をすることも大事な判断です。

つづく

中春別酪農振興会 秋の収穫祭



絆を深め、心をひとつにして 景品獲得に熱戦!

中春別酪農振興会(高橋真悟会長)は牧草の収穫が遅れたため、10月16日(火)農協裏グラウンドで遅めの「秋の収穫祭」を行いました。

開催時間が近づくにつれ、会員の皆さんが集まりだし、農事組合別に分かれ3種目の競技で熱戦を繰り広げました。

最初の競技は、靴を飛ばし白線で描かれた門の中心を狙う「靴飛ばし」。なかなか中心に靴が飛ばさず多くの

人が苦戦するなか、平成地区が1位となりました。次の種目は、バケツからコップに汲んだ白い水を10m先の一升ビンに溢れるまで注ぐ「野菜争奪乳量日本一」。種目名の通り、1位のチームから用意されている好きな野菜や果物を選べるというもの。この種目も平成地区が



1位となりました。最後の種目は玉ねぎをリレーし、重さを競う「玉ねぎ拾いリレー」。大量の玉ねぎを取り合いながら競いました。1位は中春別地区。3種目総合得点で見事1位に輝いたのは平成地区でした。

1位から順に賞金が贈呈

され、皆さん全ての競技が終わった頃にはお疲れの様子。昼食に焼肉を囲み親睦を図り、互いの健闘を称えあいました。



地区	種目	得点	順位
平成	靴飛ばし	30	1
中春別	靴飛ばし	40	2
中春別	靴飛ばし	70	3
中春別	靴飛ばし	50	4
中春別	靴飛ばし	20	5
中春別	靴飛ばし	60	6
中春別	靴飛ばし	40	7
中春別	靴飛ばし	10	8
中春別	靴飛ばし	110	9
中春別	靴飛ばし	120	10
中春別	靴飛ばし	130	11
中春別	靴飛ばし	140	12
中春別	靴飛ばし	150	13
中春別	靴飛ばし	160	14
中春別	靴飛ばし	170	15



大きなかぼちゃが勢揃い!!

美原振興会 かぼちゃの品評会



秋晴れの下、10月22日(月)美原会館ゆづりホールにて「かぼちゃの品評会」を行いました。

昨年はジャンボかぼちゃの種が手に入らず、普通サイズで行いましたが、今年には種も手に入り皆さん丹精込めてつくった大きな

なかぼちゃを重量で競いませました。

クリーン作戦と併せて開催しており、各農事組合でゴミ清掃した後、美原会館にクリーン作戦の参加者と大きななかぼ

ちやをトラックに積んだ参加者が集いました。

開拓の碑の参拝を終えた後、焼肉を囲み雑談を楽しみながら、かぼちゃの計量が始まりました。1つずつかぼちゃの重量を



計り、大きなかぼちゃが出てくると「オーッ、でかいな、なんぼあるんだ?」と感嘆の声、見事1位を獲得したのは関口さんの62kgでした。10位から1位まで順に賞金が贈呈され、その後、乳質の表彰があり、乳質優良

農事組合に新酪、乳質改善農事組合に緑進が選ばれました。

かぼちゃの順位は以下の通りです

1位	関口さん	62 kg
2位	山口さん	60 kg
3位	関矢さん	58 kg
4位	藤原さん	48 kg
5位	〃	34 kg
6位	山本さん	31 kg
7位	〃	26 kg
8位	川畑さん	23 kg
9位	山本さん	9 kg
10位	長沼さん	7 kg





中春小学校学芸会 87人みんなが主役の晴れ舞台!

中春別小学校にて 10月14日(日)中春別小学校学芸会が行われました。



朝早くから多くの家族が敷物を持参して、我が子の活躍をカメラに収めようと中春別小学校体育館へ集まりました。

児童たちは9月末日から今日まで一所懸命練習を重ねてきました。1年生の「はじめのあいさつ」から始まり、全校生徒による合唱「いつも何度でも」を披露、全



その後、4年生の劇があり最後に6年生の劇が終わると6年生から「おわりのあいさつ」があり、学芸会の幕が閉じました。



校生徒の歌声が体育館に響きました。また、学年ごとに劇や楽器演奏などを披露し、今日までの練習の成果を存分に発揮していました。

中春別小学校の伝統ともなっている5、6年生による舞踊「YOSAKOI-中春別2018」。迫力のある踊りに会場は大盛り上がりとなりました。





みんなの想いをこめて

がんばろう北海道!!

抽選で
全道
合計 **5,000** 名様に
当たる!

当
ドドンと当たる

JAバンク北海道

キャンペーン応募期間

11/10▶12/28

期間中、定期貯金・定期積金を一定条件のお預入で、
各種お取引をご利用中のお客さまに、
抽選で北海道のおいしさをドドンとプレゼント!

定期貯金・積金

×

最大5倍!!

各種お取引 給与振込 年金振込 ネットバンク
JAカード 各種お預入

でチャンス!



北海道産肉詰合わせ 3kg(牛・豚)
[20,000円相当]



北海道産米1俵(60kg)
[25,000円相当]

- ◆応募条件 / 定期貯金[預入期間:1年以上、金額:10万円以上]、または定期積金[預入期間:1年以上、金額:12万円以上]の窓口でのお預入れ(書替含む)があり、かつ以下の対象取引①~⑤のいずれか1つ以上のご利用(新規申込含む)があると応募できます。
①給与振込②年金振込③ネットバンク④JAカード⑤お借入
- ◆抽選権 / 定期貯金は10万円毎、定期積金は12万円毎で1口とし、定期貯金・積金の口数×1~5%の取引回数(最大5倍)が応募回数となります。
- ◆対象者 / 個人の方に限ります。
- ◆応募方法 / 窓口でお渡しする応募用紙に必要事項を記入し、窓口へお持ちください。
- ◆当選発表 / 賞品のお届けをもって代えさせていただきます(ご案内は平成31年3月予定)。

※当選後の権利の譲渡、賞品の交換・換金には応じられません。
※9月お預入された定期貯金または定期積金を申請された場合は、当選の権利を失います。

全道JA特産品カタログギフトからドドン!

B賞
500名様



好きなJA特産品
2品
[7,000円相当]

C賞
1,000名様

好きなJA特産品
1品
[3,500円相当]

各賞に外れた方の中から
抽選で3,300名様

W賞
チャンス

おすすめのJA特産品1品
[3,500円相当]
または農協全国商品券
[2,000円分]
ご希望のどちらかをプレゼントします。

先着で
プレゼント

kppis × CHORIS
オリジナル
マルテケース

Web限定 QUOカード2,000円分が抽選で当たる!
口座開設キャンペーン実施中



初めてJAで口座を開設のうえ、「年金」[給与振込]「口座振替」[JAネットバンク]「JAカード」[発券or決済]のうちいずれかのお取引をされたお客様が対象です。
※応募方法は詳しくはWebをご覧ください。

JAバンク北海道

JAバンク北海道
http://www.jabank-hokkaido.jp

平成30年北海道胆振東部地震により、被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。

お問い合わせは

JA中春別金融共済課貯金係 TEL(0153) 76-2314

●搾乳実習を終えました【経営科】

10月3日(水)～10月19日(金)まで別海町酪農研修牧場で、今年度の搾乳実習を行いました。2年生を対象として、酪農の基本的技術である「搾乳」について、現地実習を通して正しい技術を学ぶことを目的に行っています。



パーラーでの搾乳

別海町酪農研修牧場の吉田場長には事前にご来校いただき、研修牧場での生活や搾乳に関するレクチャーを実施していただきました。

今年度より、2年生全員が2泊の実習を経験し、夜の泌乳に関わる講義と合わせて、詳しく搾乳に関する知識と技術を学ぶことができました。地域酪農に貢献する人材の育成を目指して、今後も地域関係機関のご指導をいただきながら、より高い技術の定着を図っていきます。

●食彩フェアに参加しました【経営科】

10月6日(土)にイトーヨーカドー釧路店にて食彩フェアが開催されました。この催しは全道の農業高校で栽培された野菜や、製造された加工品などを各地のイトーヨーカドーで販売するものです。



販売会の様子

前日には店員の方からレジ打ちについて講習を受けたり、ポップを作成したりして準備を進めました。当日は多くのお客様にお越しいただき、参加生徒は、商品の解説や鉢花の栽培法の説明を交えながら接客を行いました。今年度は野菜や鉢花に加えて、別海高校で製造したストリングチーズやヨーグルトなどの乳製品も販売し、より幅広い生産物の提供ができました。参加生徒からは、「毎年このフェアを楽しみにしているお客さんも多く、よい刺激となった。ぜひ来年も参加して、よりよい商品を販売したい」との感想もあり、消費者の方々の声を直接お聞きすることで、どのようなものが求められているのかを知ることができました。

イトーヨーカドー釧路店の皆様には販売場所の提供や、懇切丁寧なご指導をいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

●【専攻科】乳牛疾病学

9月26日(水)～28日(金)の3日間、「乳牛疾病学」の授業を実施しました。この授業は、乳牛の疾病に関する知識の向上および情報収集を通し、根釧地域で発生している疾病を理解し対策を考える授業です。

【1日目】根室家畜保健衛生所の久保様より、「家畜伝染病予防法規」「根室管内で見られる主な疾病」についてご講義いただきました。家畜防疫を徹底する意味や家畜伝染病が発生した場合の対処等について細かくご指導いただきました。

【2日目】NOSAI道東根室南部事業センターの石川様より「農業災害補償制度の概要」について、共済掛金や支払共済金の仕組みについて丁寧にご講義いただきました。午後からは実際に根室南部事業センターで手術見学をさせていただきました。

【3日目】2日目に引き続き石川様より、「乳牛の疾病」「牛の乳房炎」についてご講義いただきました。疾病の発生要因や発生時の症状・対策、災害後の乳房炎を最小限に抑える方法など丁寧にご指導いただきました。学生からは、「早期発見は難しいが、普段から丁寧に牛を観察していきたい」という感想がありました。



手術現場の見学



石川様による講義

●【専攻科】環境科学

10月2日(火)～4日(木)の3日間「環境科学」の授業を実施しました。3日には地域の生態系を知るという目的でフィールドワークを実施しました。調査対象はウチダ



ウチダザリガニ計測中

ザリガニでこれは1930年代に摩周湖に食用として放流されたものが徐々に生息域を広げ、在来種であるニホンザリガニを駆逐するまでになったものです。前日までの台風の影響からか、仕掛けたカニかごの中には残念なことにウチダザリガニは4匹しか捕獲されていませんでしたが、在来種のモクズガニが多数確認できました。捕獲後野付半島ネイチャーセンターに持ち帰り、ネイチャークラブの鎌田さんと金子さんのご指導の下、計測・記録しよく茹でて試食しました。学生から「カニとエビの中間の味がして意外に美味しい」との声が聞かれ充実した授業になりました。

JAグループ通信

JAグループ北海道×コンサドーレ札幌『北海道応援マッチ』特集号

毎月、JAグループ北海道の連合会・中央会の活動を紹介しております。今月は、平成30年9月29日に北海道コンサドーレ札幌ホームゲーム（VSサガン鳥栖戦）をJAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しましたので、会場での各取り組みをご紹介します。

*JAグループ北海道は、北海道コンサドーレ札幌とともに、スポーツを通じてたくさんの方々に食や農業の大切さを伝える活動を行っています。

9月29日のサガン鳥栖戦は、JAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しました。

JA北海道中央会

来場者に全道各地のJA特産品を550人様にプレゼントする企画や、JAグループ関係のブースを回るスタンブラリー抽選会、「JA2M P」チェックインキャンペーンを実施しました。試合はコンサドーレの劇的な勝利に終わり、JAグループ北海道よりMVP賞の贈呈を行いました。

チームのさらなる活躍を期待し、今後も北海道を共に盛り上げるパートナーとして応援して参ります。



JA北海道信連

JAバンク北海道では、会場で「口座開設を予約していただいた方」に抽選でコンサドーレ観戦券またはコンサドーレ・オリジナルマフラーを、「ちよリスと」一緒に撮影し、SNSに投稿していただいた方」にちよリス・ブランケットをプレゼントしました。小野伸二選手も応援に駆け付け大盛況となり、多くのコンサドーレサポーターの方にJAバンクをPRすることができました。

ホクレン

ホクレンは来場者先着2000人に顆粒片栗粉「とろりんぼっ」を配布したほか、「ホクレン大収穫祭」の告知及び全国発送のチラシを配布し、来場者に対してPRを行いました。ブースには北海道コンサドーレ札幌の田中雄大選手、藤村怜選手、クラブマスコットの「ドーレくん」が相次いで応援に駆け付け、配布を手伝うとともに、快く握手などに応じ、集まったサポーターたちを喜ばせました。



JA共済連北海道

JA共済連北海道は、地域貢献活動の紹介チラシを作成し、粗品とあわせて配布することで、交通安全を呼びかけました。

また、小さいお子さまには、ひとのわぐマのおなかを的にし、ボールを投げていただくゲームで楽しんでいただき、大盛況となりました。来場者の皆さまにJA共済連の交通安全にかかる活動を知っていただくことができました。

JA北海道厚生連

JA北海道厚生連からは配置薬課より「野菜酵素青汁」と「草苜譜(命)（入食材）」の配布を行い、稲本選手もブースにかけつけてくださり、多くのサポーターの皆様が集まっていた大きな大盛況となりました。

今後も北海道コンサドーレ札幌の活躍を応援していきたいと思えます。



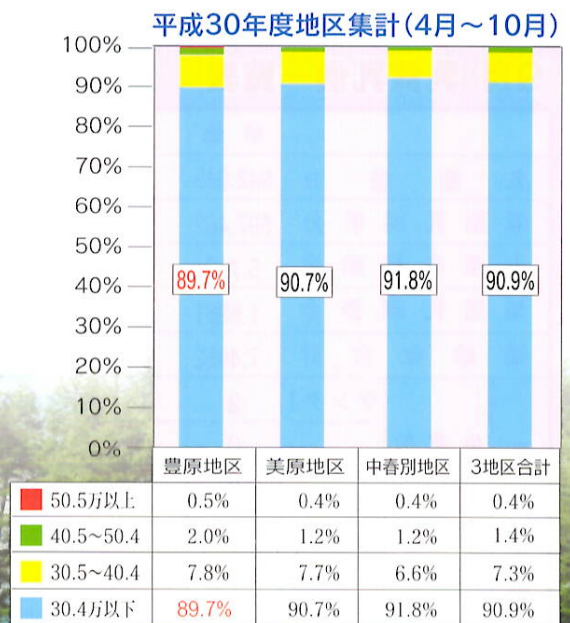
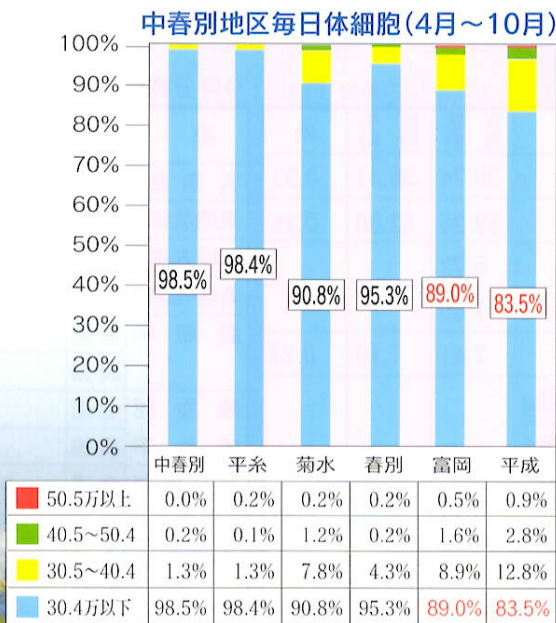
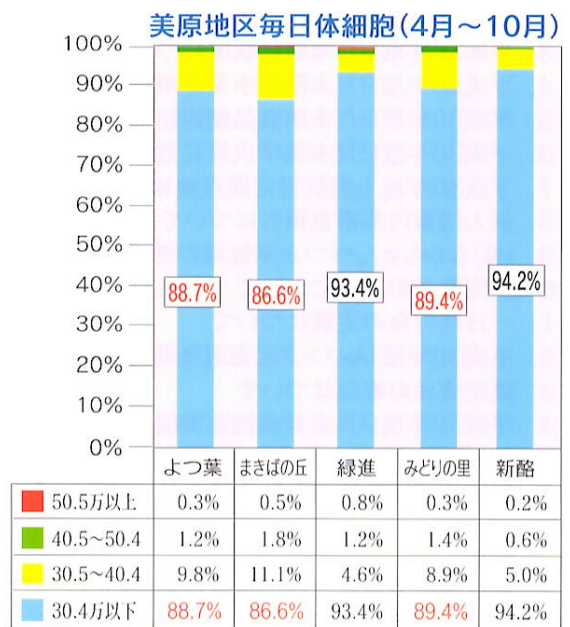
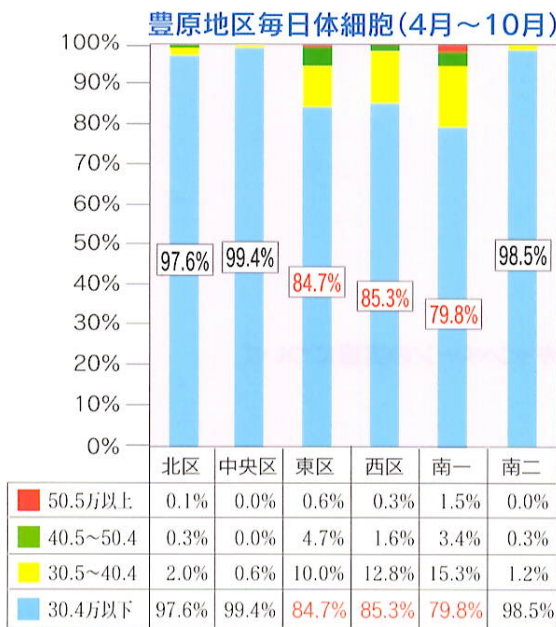


生乳汚染事故を無くそう！

- 抗生物質混入事故……………JA中春別発生件数 **4**件 管内合計では**9**件です。
- 生菌による汚染事故……………JA中春別発生件数 **0**件 管内合計では**3**件です。
- 異物混入、加水、血乳による汚染事故……………JA中春別発生件数 **0**件 管内合計では**1**件です。
- 異臭、異常風味による汚染事故……………JA中春別発生件数 **0**件 管内合計では**0**件です。

家族の健康こそ良質乳の源!

良質生乳生産推進委員からの標語



議案

1. 平成30年度下半期余裕金運用計画額及び運用方針について
2. 平成30年度半期ディスクロージャー誌による開示について
3. コンプライアンス・マニュアルの一部改正について
4. 内部監査規程類の一部改正について
5. 平成30年度営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
6. 平成31年度営農年度営農基本方針(案)について
7. 中山間事業に係る資金の貸付について
8. 生乳抗生物質混入事故補償互助会基金の徴収について

報告事項

1. 平成30年度9月末定期監査報告について
2. 組合員の加入について
3. 平成30年度9月末財務状況について
4. 平成30年度9月末購買事業実績について
5. 平成30年度9月末購買品棚卸結果について
6. 平成30年度9月末基準決算見通しについて
7. 平成30年度上期経営定期点検報告について
8. 個人情報内部審査報告について
9. (株)なかしゅんべつ未来牧場の株式取得について
10. 固定資産の実査について
11. 一日皆貯金の実績について
12. 平成30年度JAバンク北海道冬期特別推進運動冬のキャンペーンの実施について
13. 固定資産の取得について
14. 平成30年度9月末営農関連実績について
15. 第35回「菊と緑の会inべつかい」実施結果について
16. 特定疾病感染補償互助会の支払いについて

協議事項

1. 地区別組合員懇談会の意見集約について

9月 乳質乳価一覧表

(単位:円/)

9月分乳代支払単価

		単価	算出基礎	支払乳価	前年同期	差	項目	単価(円)/(kg) %	
乳脂肪分		942.045		36.74	36.41	0.33	乳脂肪分①	36円74銭	
無脂乳固形分		597.462		52.26	52.00	0.26	無脂乳固形分②	52円26銭	
生産者補給金		5.7171		5.72			生産者補給金③	5円72銭	
集送乳調整金		1.6881		1.69			集送乳調整金④	1円69銭	
補給金合計		7.4052		7.41	7.19	0.22	脂肪率	全道 3.90% 農協 4.01%	
乳質単価	生菌数	ランク1	2	282,444,430.6kg	3.65	3.69	-0.04	無脂固形分率	全道 8.75% 農協 8.70%
			0	8,401,053.3kg				成分乳価	全道 96円41銭 ①+②+③+④=⑤ 農協 97円13銭
			-3	230,444.0kg				乳質乳価	全道 3円65銭 ⑥ 農協 3円72銭
乳質単価	体細胞数	ランク1	2	245,583,319.1kg	3.65	3.69	-0.04	乳代合計	全道 100円06銭 農協 100円85銭
		ランク2	1	21,773,045.7kg				⑤+⑥	差異 0円79銭
		ランク3	-2	6,855,512.6kg					
乳製品向原料確保奨励金					0.29	-0.29			
合計				100.06	99.58	0.48			



退職にあたって 組合員の皆様へ

JA 中春別酪農ヘルパー利用組合
元職員 森 有 紀

私事で恐縮ですが、JA 中春別酪農ヘルパー利用組合を9月をもって退職させていただきました。

お世話になった皆様一人一人に直接お伺いしてご挨拶したいところですが、この場をかりて感謝の気持ちを述べさせていただきます。

サポートからヘルパーになり3年。本当に中身の濃い、私の人生でもっとも意味のある3年間でした。金髪頭で履歴書には「牛のプロになる」とだけ書き、キャリアケース1つで北海道に来たのがつい昨日のこのように思い出します。牛のこと、酪農のこと、何も分からなかった私をいちから育てていただいた組合員の皆様には感謝してもしきれません。仕事の手を止め、「このトラクター乗ってみる？」と素人の頼りない当時の私に機械作業を基礎から教えて下さったこと、「朝ごはん食べて！」と仕事終わりにいただいた手作りのお弁当の味、一生忘れません。仕事覚えも悪く、気も使えず、本当にたくさんの失敗をして、迷惑をかけ、ここまで来ました。自分の不甲斐なさに悔しくて情けなくて、たくさん泣いて…、でも組合員さんからの、「ありがとう」が嬉しくて、すぐ笑顔になって、日々楽しく頑張ることができました。

この皆様への感謝の気持ちを、これからは同じ酪農家として、この地域に還元していきます。まだまだ未熟者で、今スタートラインに立ったようなものですが、やる気と負けん気と若さで中春別酪農を盛りあげたいと思っていますので、今後ともご指導ご鞭撻の程、よろしくお祈りします。

これからの酪農業界は、女性ヘルパーもどんどん増えていくと思います。どうか組合員の皆様には、温かい気持ちで、酪農女子たちを見守り、応援していただけたら嬉しいです。

最後になりますが、ヘルパー利用組合役員の皆様、農協事務局の皆様、酪農家の皆様、そして小原主任はじめ職員の皆様、本当にありがとうございました。大好きです。

ボランティア組織 そよかぜ講習会

防災意識が強まる講習会でした

ボランティア組織そよかぜでは、9月25日(火)に別海町社会福祉協議会の方をお招きし講習会を開催しました。



胆振地震を経験し、根室沖でも大きな地震が予想されていることから災害関連の質問が多くあがりました。別海町でも災害時のために備蓄している食料はありますが、多くはないため、町民一人一人の備えが大切であり、最低3日分の食糧と水は確保していたほうが良いとのことでした。

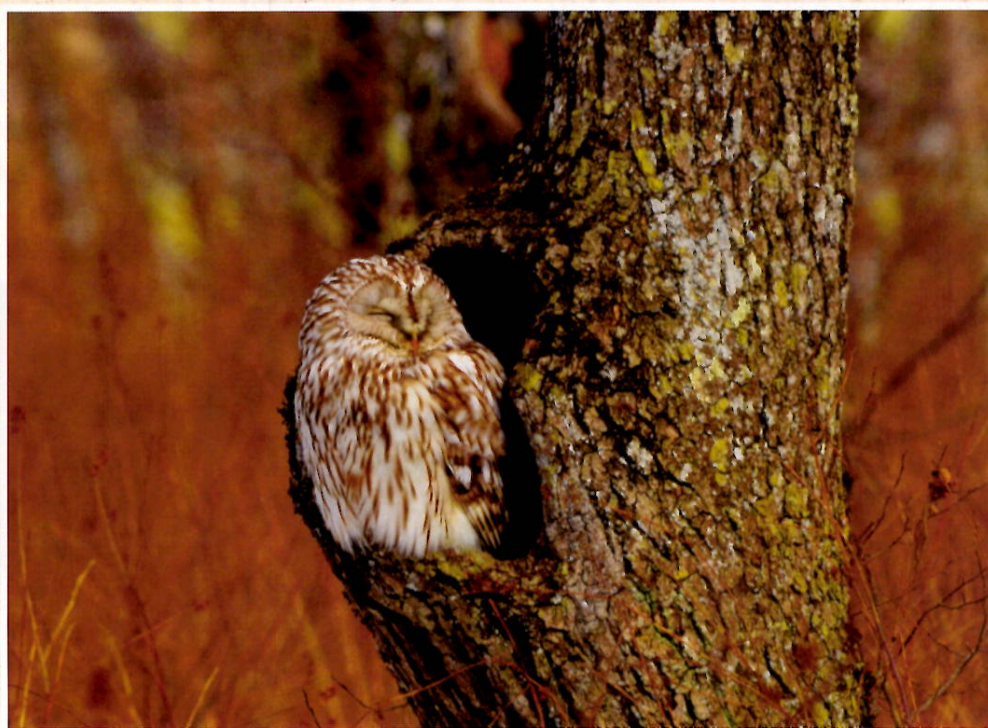
座学後は高齢者疑似体験と車いすの操作方法を教えていただき、講習会は終了となりました。



組合員の広場



作品名「晩秋のエゾシカ」南澤三郎さん



作品名「蝦夷フクロウ」南澤三郎さん

今月号の組合員の広場は「写友 北風」の作品を掲載いたしました。
組合員の広場では習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。営農振興課・久末までお気軽にご連絡ください。